（第三種郵便物承認）　上毛新聞　2010年（平成22年）4月14日（水曜日）　社会　(2)

長野原町長選

解説　国の八ツ場ダムは6340人で4年前から359人減。そのほぼ半数で全国から注目される中、長野原町民は無投票で「ダム推進」を訴える高山欣也氏に町政のかじ取りと国との折衝役を託した。

町の過疎化は深刻さを増す。3月末現在の町の人口が、人口約1400人のダム関係5地区（川原湯、川原畑、横壁、長野原、林）からの転出だ。本体工事の凍結で関係住民の将来不安が高まる中、高山氏は一刻も早く生活再建事業の完成に努めることが、これまでに求められている。

生活再建の完成急務

基幹産業の観光業と農業の振興でも、「八ツ場ダムの地元」という話題性を逆手に取るなど、斬新なアイデアで他町村との差別化を図りたいところだ。

「町民であることを誇れる町に」。高山氏は町づくりの基本方向をこう表現する。ダム問題に取り組みながらどんな町をつくっていくのか、その手腕が問われる2期目となる。

（中之条支局　入山亘）

大腸がん早期発見の研究

小倉教授（健康科学大）ら「土井賞」

学会の英文誌優秀論文　CT画像を分析

日本放射線技術学会と日本医学物理学会は、両学会の英文誌「RPT誌」の優秀論文表彰「土井賞」＝**豆字典**＝に、県立医健康科学大大学院の小倉敏裕教授（50）ら3人を選んだ。小倉教授はCTのデータを活用した大腸がんの早期発見に関する研究成果を論文で発表し、高い評価を受けた。

論文テーマは「CTのデータを使った腹腔内脂肪解析による大腸がん早期発見の研究」。県内や都内の病院の協力を得て、767人のCT画像データを5年間にわたって分析した。内臓脂肪の分布グラフを調べ、骨盤で増加するケースに着目。大腸がん患者のうち、男性で77%、女性で50%に増加の傾向が見られた。

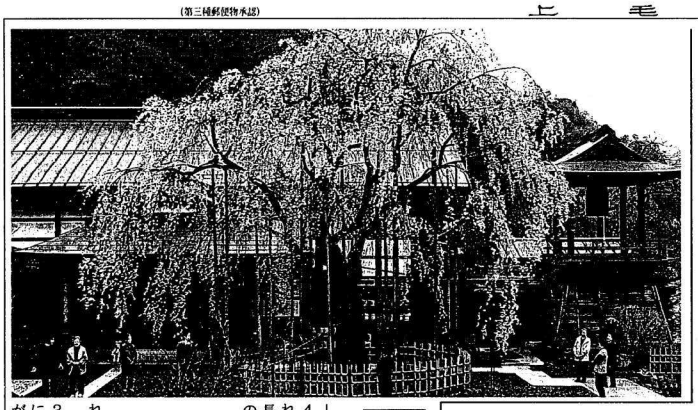
小倉教授は「がん周辺になぜ脂肪が多いかは不明だが、脂肪が骨盤で増加している人は大腸がんの可能性があるという警告になる。そこで検査をすれば、早期発見につながるのではないかと提言している。腎臓や肝臓の検査で撮影したCTデータを活用することも可能だと説明している。

今回の受賞について、小倉教授は「名誉ある賞に選ばれ、大変光栄。学生の研究心向上にもプラスになると思う。今後は前立腺がんについて調査を見せている。

横浜市内で11日に贈呈式があり、日本放射線技術学会名誉顧問として表彰状を手渡した、土井邦雄・県立医健康科学大学長は「CT画像を分析し、大腸がんの可能性を探る研究は世界的にも例がない。非常に興味深い」とたたえた。

小倉教授のほか、山谷泰賀・放射線医学総合研究所チームリーダー、藤淵俊王・茨城県医療大助教が受賞。贈呈式後に3人の記念講演も行われ、全国の診療放射線研究者や学生らが熱心に耳を傾けた。

土井賞　国際的な研究者育成を目的に、日本放射線技術学会と日本医学物理学会が2008年度に共同で創設。優秀論文3編を選び、毎年度表彰している。長年にわたって米・シカゴ大放射線科教授を務め、研究者育成に力を入れてきた土井邦雄・県立医民健康科学大学長の学会への貢献にちなんで命名された。



土井学長（右）から「土井賞」を贈られる小倉教授＝横浜市

上州の一本桜 ―③

宿場町のシンボル

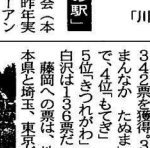
「シダレザクラ」　下仁田・長楽寺

「しだれ桜　咲いてます」。下仁田町本宿の国道254号で見かけた看板に誘われたどり着いたのは近くの長楽寺。境内に入ると、満開のシダレザクラが出迎えてくれた。

高さ8㍍、幹回り2・4㍍。3～5㍍ほど垂れ下がった枝に、濃いピンク色の上品な花が咲く。下から見上げると、まとまった花が空から降ってくるように感じる。

樹齢は推定250年。「植えられた経緯はよく分からない」（峯岸正典住職）が、この桜は宿場町として栄えた本宿地区のシンボルとして、時代の移り変わりを見守ってきた。

シロアリ被害を受けたが、2001年に県の補助で修復。現在は関東一円から見物客が訪れる名物桜として知られている。



みなかみ町議選

立候補者の顔触れ

左上から右下に届け出順（敬称略）

新人3人含む22人が立候補

みなかみ町議選告示

13日告示されたみなかみ町議選は22人が立候補を届け出た。定数を4人上回り、選挙戦が始まった。

立候補者の内訳は、現職16人（元職3人、新人3人）。党派別では共産1人、無所属21人。旧町村別にみると、月夜野9人、水上5人、新治8人となっている。

投票は18日午前7時から午後6時まで町内21カ所で行われ、午後8時から町中央公民館で即日開票される。

みなかみ町議選立候補者

（定数18、22人届け出順）

内海 敏久	60	農業	無新
小野 章一	61	農業	無現
中島 信義	70	農業	無現
林 喜美雄	63	会社役員	無現
河合 生博	56	農業	無元
前田 善成	58	農業	無現
小林 洋	42	社会	無現
島崎 栄一	53	農業	無現
本多 秀偉	59	農業	無現
高橋 市郎	47	食品小売業	無現
久保 秀雄	46	民宿経営	無現
森下 直	64	農業	無新
河合 幸雄	45	農業	無現
中村 正	56	会社役員	無現
伝田 創司	72	農業	無元
原沢 良輝	63	農業	無現
松井 秀明	67	自営	無現
林 一彦	61	自営	無現
馬場 春夫	43	会社役員	無現
山田 庄一	70	会社役員	無現
久保 敏生	64	鉄工	無現
博幸	56	農業	無現
律秀	72	農業	無現
雄幸	63	農業	無現
秀明	67	農業	無現
章一	61	農業	無現
善成	43	元団体役員	無現
市郎	70	政党役員	無現
正一	64	室内装飾業	無現
彦	56		
賢一			
信義			
洋			
秀雄			
創司			
春夫			
勲			
美雄			
栄一			
直			
輝			
庄一			

ららん藤岡

535票で1位

「川場田園プラザ」は2位

関東「好きな道の駅」

関東「道の駅」連絡会（本部・さいたま市）が昨年実施したスタンプラリーアンケート「好きな道の駅ベスト30」で、5年連続2位だった「ららん藤岡」（藤岡市）が1位に選ばれた。5年連続で1位だった「川場田園プラザ」（川場村）は2位に後退。藤岡は上信越道からもアクセスできるため、高速道の自動料金収受システム（ETC）利用車両の通行料金割引が要因になったとみられる。県内では、このほか「白沢」（沼田市）が23位に入った。

関東甲信地域の道の駅でつくる同連絡会が、昨年7月から12月までスタンプラリーを実施。その際に127施設を対象としたアンケート調査をもとに、観光客から5571人から回答を得た。

藤岡は535票、川場が342票を獲得。3位は「どまんなか　たぬま」（栃木）で4位にもてき」（同）、白沢は238票だった。

藤岡への票は、地域別で本県と埼玉、東京が多かった。理由として「一般道、高速道のどちらからもアクセスできる」「施設で販売されている菓子や肉類がいい」「ミニ遊園地で遊べる」などを挙げている。

1位となったことについて、施設を管理運営する藤岡グロスパークの柴山秋広社長は「開場10周年を迎える年に素晴らしい結果が聞けて大変うれしい。これからも積極的にイベントを開催していきたい」と話している。

「好きな道の駅」で1位に輝いたらら藤岡＝昨年7月4日撮影

相続の無料相談会

16日に弁護士会

群馬弁護士会は16日午後3時～5時まで、前橋市大手町の同会館で、遺言の書き方や相続に関する相談を無料で受け付ける。

日本弁護士連合会が毎年4月15日を「良い遺言」の日と定めていることに合わせて、遺言の日に相談会を開いていることになんで実施する。

相談は1人当たり45分。資料があれば持参すること。事前予約が必要で、午前9時～午後5時までに、同弁護士会（☎027・234・9321）へ電話予約する。

みんなの進路

近年、ニートやフリーターの増加、若者の離職率の高さなどが社会問題となり、さらに経済情勢悪化による就職難など、さまざまな社会現象が現代を生きる若者たちに「将来の自分像」を描きにくくしています。

上毛新聞社は、若者が自らの生き方や考え方を考えるきっかけの場として、「みんなの進路講演会」を開きます。おもな対象者は、教育関係者や生徒、保護者ですが、関心ある方なら、どなたでも聴講できます。

参加無料

ゾマホン講演会 5/22（土）

「今、日本の若い人に伝えたいこと」

流暢な日本語で語る、アフリカ人としての視点からとらえた辛口の日本観や教育問題

ゾマホン（Zomahoun）タレント・ベナン共和国大統領特別顧問

1964年 西アフリカ・ベナン共和国生まれ、ベナン国立大学、中国・北京語文化大学卒業。上智大学大学院に研究生入学、博士過程前期・後期試験合格。98年、TV番組「ここがヘンだよ日本人」出演をきっかけに2冊の本を出版、ベストセラーになる。印税をすべて使い、母国・ベナン共和国に3つの学校を建設。04年、ベナン共和国大統領特別顧問就任。世界最優秀青年賞、ベナン共和国・国民栄誉賞受賞、平成21年度社会貢献者表彰。また、IFE財団、NPO法人IFEを設立し、日本とベナンをはじめとするアジア・アフリカ諸国との間の協力や相互理解を推進するための活動をしている。

募集人数　400人（入場無料・要聴講券）

とき　2010年5月22日（土）10：30～12：00（10：00開場）

ところ　群馬会館・ホール（前橋市大手町2-1-1）

応募方法　はがき、ファクス、電子メールで、参加希望者全員の ①氏名 ②学校名と学年または職業 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥ゾマホン氏への質問を明記し、下記へお送りください。

【応募先】上毛新聞社広告局企画部「みんなの進路」係　●はがき　〒371-8666（住所不要）
●ファクス　027-254-9895　●メール　jp-kikaku@raijin.com　携帯からもお申込みいただけます▶
【締め切り】5月7日（金）必着（応募多数の場合は抽選）【問い合わせ】027-254-9945（平日の9:00～18:00）

◆主催：上毛新聞社　◆後援：群馬県・群馬県教育委員会・群馬県高等学校長協会・群馬県私立中学高等学校協会

吉田松陰の霊言

21世紀の志士たちへ

大川隆法「公開霊言」シリーズ最新刊

喝！おのれに打ち克て。世の中を変えよ。魂の教育者、吉田松陰。

この気迫！この鋭さ！

わずか29年間の生涯で、明治維新の立役者たちを育てた激烈の教育者・吉田松陰が、現代の日本人に国難と戦う覚悟を問う。

吉田松陰の霊言

1,260円（税込）

幸福の科学出版　0120-73-7707　03-6384-3778　http://www.irhpress.co.jp/

民主党政権による「国難」が始まった。

危機に立つ日本

国難打破から未来創造へ

日本を襲う4つの危機！

1 新たな「長期不況」へ突入
●コンクリートから人へ で 再び構造不況 に陥る

2 大増税国家への道
●「小さな政府」で民間の活力を呼び戻せば、増税は必要ない

3 「友愛外交」が招く最悪のシナリオ
●「東アジア共同体」を推し進めれば、日米戦争の危険性が

4 公教育と家庭を崩壊させる「ばらまき政策」
●いま日米同盟が崩れたら、日本は中国の植民地になる

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁　大川隆法　Ryuho Okawa

最新刊

危機に立つ日本

1,470円（税込）

そんなでも、日本を救いたい！　大川隆法

幸福の科学出版　0120-73-7707　03-6384-3778　http://www.irhpress.co.jp/

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。